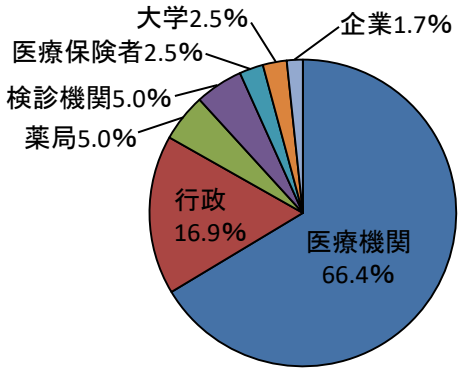
# アンケート結果について

アンケートへのご協力ありがとうございました。広島会場と福山会場のアンケート結果を情報提供いたします。

## ○ 養成者の所属機関 （n = 119）○




今までの養成者の構成と比べると、薬局と検診機関の方が今年は多く養成されました。

また、参加された方の職種のTOP5は以下の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | （准）看護師 | 38.7％ |
| 2 | 薬剤師 | 12.6％ |
| 3 | 臨床検査技師 | 10.1％ |
| 4 | 保健師 | 9.2％ |
| 5 | 医師事務 | 5.0％ |

その他、医師、栄養士、理学療法士、相談員など、様々な職種の方が参加されました。

## ○ 肝炎ウイルス検査の実施状況について ○

医療機関で肝炎ウイルス検査を行っていると答えた71名（27施設）について集計しました。

Q.検査結果を説明していますか。（回答者 61人、23施設）

A.説明している 52人（16施設）、説明していない 0人、把握していない 9人（9施設）

昨年度は約4割の方が「把握していない」だったので、検査結果通知について施設内で意識が高まったことが示唆されました。

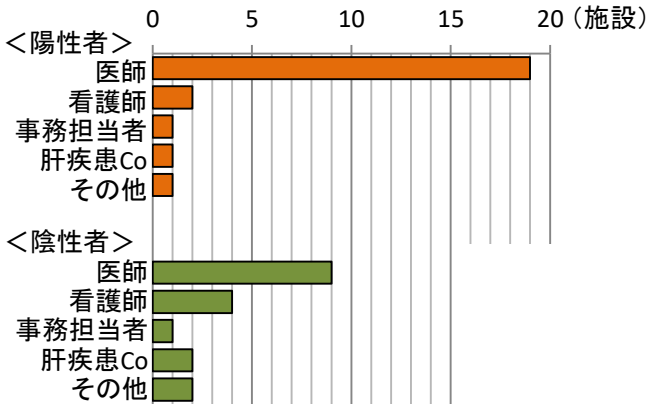
Q.結果説明は誰が行っていますか。

A.陽性者については58人（19施設）、陰性者については46人（15施設）が回答し、右図のようになりました。

陽性者には全施設で医師が説明すると回答しました。

陰性者への説明は看護師や肝疾患Coが関わる機会が比較的多い結果となりました。

受診勧奨のチラシや陰性者向けの説明用紙は県で作成したものもあります。ぜひ結果説明の際に活用してください。




利用できるパンフレットなどを知りたいというご意見をいくつかいただいたので、
県で配布しているもの一覧や関連情報のページを作成しました。
ぜひご活用ください。URL ⇒ https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kanenshinsei/hepaflier.html

広島県 肝炎 使える資材一覧 検索

## ○ 肝疾患Coの活動について ○

今年、養成講座や継続研修を受けた方に記載いただいた内容をいくつか紹介します。

**＜活動事例＞**

・検診機関：受診者の履歴を確認し、未受診者に声掛け。採血予定のある方は比較的スムーズに受診される。
・医療機関：待合室で啓発ビデオを流している。
・医療機関：説明のフローを作り、統一した。
・医療機関：チームを作り陽性者の確認、カンファレンス、主治医への報告を行っている。

**＜困っていること＞**

・医療機関：肝疾患Coは自己研鑽の一環と捉えられている。院内での認知度が高くなると活動しやすい。
⇒他の医療機関の方から、院内で肝臓週間の啓発活動を行ったところ肝疾患Coの活動の周知にもなったという報告もいただいています。活動の見える化は課題のひとつであり、解決策を模索しているところです。

**❏お問い合わせ先❏**

広島県健康福祉局薬務課肝炎対策グループ　Tel：082-513-3078（ダイヤルイン）　Fax：082-211-3006

Facebookページを運営しています ⇒⇒

研修会の案内や制度の情報提供などを行っています。
活動事例も紹介するので、ぜひご活用ください！

『知って、肝炎＠広島県』
https://www.facebook.com/Hiroshima.TeamHEPA